

## 令和 2 (2020)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	食物アレルギーにおける腸管内脂質代謝異常の統合的解析と分子基盤の解明
研究代表者	村田 幸久 (東京大学・大学院農学生命科学研究科・准教授) ※令和 2 (2020)年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020)年度～令和 6 (2024)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p><b>【課題の概要】</b></p> <p>本研究は、様々な疾患で報告される腸内細菌叢の乱れに着目し、腸管内における種々の脂肪酸類の動態異常を誘発する環境要因と食物アレルギー発症機構との関連を解明しようとするものであり、これまでの研究代表者らの研究成果に基づいた研究である。</p> <p><b>【学術的意義、期待される研究成果等】</b></p> <p>社会的要請の高い研究テーマであり、腸管内の細菌叢と脂肪酸類の動態との関係に着目して食物アレルギー発症への影響の解析を行う本研究の学術的意義は高い。また、本研究の推進により、食物アレルギー発症機構を理解する上での基盤となる新たな研究成果を提供することが期待される。</p>